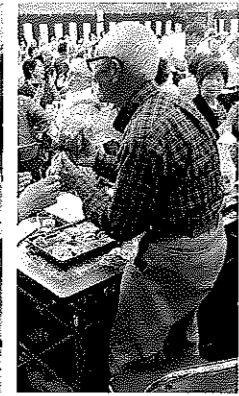


敬老会の日

日時: 30. 9. 17 会場: なんびあ別館 参加者: 315人



参加者最高齢者(女性96才・男性92才)へ花束



お元気ですね!



福祉の心

第98号
(題字 宜野座通男氏)
平成30年11月25日発行
牛島地区社会福祉協議会
発行者 菅原 昭子



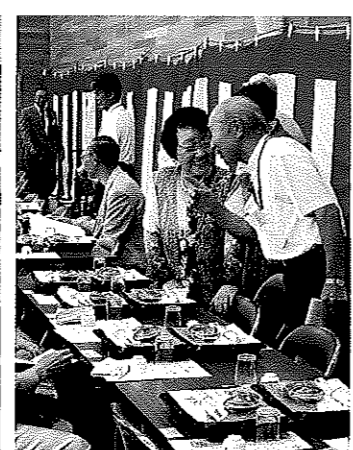
子どもたちと共に



スタッフ



3年生の「元気いっぱい牛島っ子」



談笑



浅野千鶴子様一行



万歳三唱

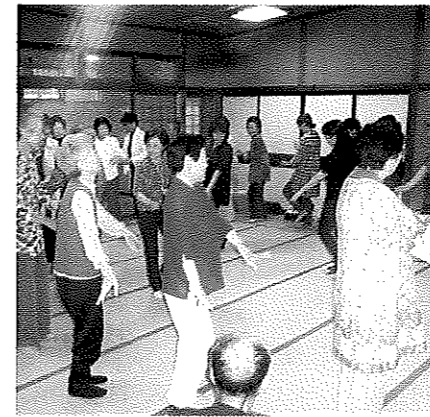


牛島音頭でにぎやかに!

ふれあい合同サロンⅠ(7.11実施) Ⅱ(10.29実施)



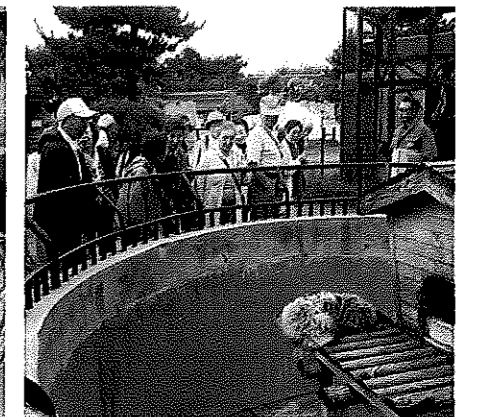
「大森山動物園」見学(7.11)



昼食後「牛島音頭」を踊っています。



「大森山いこいの家」で昼食を楽しみました。



あらいぐま

10	10	10	10	9	9	9	9	9	8	8	7	7	7	7	7	6	月	
9	6	4	2	26	25	21	17	16	29	27	21	24	21	17	12	11	4	日

秋田市地域福祉活動計画策
 定委員会 (会長)
 合同サロンの打ち合わせ
 ふれあい合同サロンⅠ
 小学校二年町探検引率ボラ
 シアター
 役員会
 敬老会仕分け作業
 なんびあ別館開所式
 敬老会打ち合わせ
 「歳末助け合い」について打
 ち合わせ
 秋田市地域福祉活動計画策
 定委員会 (会長)
 秋田市地域福祉活動計画策
 定委員会 (会長)
 敬老会反省会議

事業報告

(30.6.26~30.11.25)

「福祉の心」編集委員会
 秋田市社会福祉大会
 ふれあい合同サロンⅡ
 「福祉の心」編集委員会
 「福祉の心」編集委員会
 秋田市地域福祉活動計画策
 定委員会 (会長)
 「福祉の心」第98号発行

☆全国花火大会のフィナーレ曲としておなじみの秋田県民歌、国民文化祭を契機に各種行事やイベントで大合唱されるようになりました。集う人々の心ひとつに歌の輪ができ、温かさや心地良さ、また、心強さを感じます。

ところで、わが町牛島には牛島音頭があります。牛島小学校では、運動会の時に親子で踊っているようです。

今年の敬老会では、別館の開所を記念して、社協の役員と地域の有志で初めて踊りました。踊りの輪の中に県民歌と同じように温かさや心地良さを感じます。機会有る毎にみんなで踊り、地域の繋がりをや絆を強くしていきたいです。

☆岡部時計店様からのご寄付は会報に使用してほしいとのことでしたので、写真をカラーにすることが出来ました。おかげ様でありがとうございました。

☆ご寄稿ご協力いただきました皆さまに感謝致します。(大工原)

編集委員
 大工原 鈴木 小野寺
 田岡 菅原

11	11	11	11	10	10	10	10	10	11	11	11	11	10	10	10	10	10
25	19	16	13	29	24	18	11	11	11	11	11	11	10	10	10	10	10

「福祉の心」編集委員会
 秋田市社会福祉大会
 ふれあい合同サロンⅡ
 「福祉の心」編集委員会
 「福祉の心」編集委員会
 秋田市地域福祉活動計画策
 定委員会 (会長)
 「福祉の心」第98号発行

楽しかった敬老会

— 今年は何んぴあ別館で —



副会長(敬老会担当) 森 敬治

九月十七日(敬老の日)、新装なったなんぴあ別館において平成三十年度の敬老会が執り行われました。

牛島地区の敬老会は、南部公民館の取り壊しに伴い二年連続で協働大町ビルで行われていました。が、久々の地元での開催というこどもあり、昨年を大きく上回る二四七名の参加のもとで開催されました。

午前十一時、主催者の挨拶に続き、佐々木吉丸秋田市福祉保健部長から心温まるご祝辞を頂きました。

続いて牛島小学校三年生による歌と踊り「元氣いっぱい牛島っ子」が舞台をはみ出さんばかりに文字通り「元氣一杯」に行われました。雰囲気が一気に明るくなったところで新敬老者佐藤寛次氏による乾杯。参加した最高齢者ベスト2の紹介に続いて、「浅野千鶴子」御一行による民謡が披露されました。

「みんなで歌おう」では「青い山脈」「高校三年生」「秋田県民歌」等をみんなで歌い、カラオケによる「のど自慢」も飛び出して会は和気あいあいと絶好調に。「みんなで踊ろう」では参加者のみなさんが大きな輪を作って「牛島音頭」を披露、会場は一体感に包まれました。最後にシニアむつみ会高橋隆一会長の音頭で万歳三唱が行われ、午後一時十五分、会は終了しました。

準備は五月下旬から始まりましたが、今回も敬老会対象者(七十五歳以上の方)の調査名簿作り、参加の呼びかけ、参加者集約など、町内会長の皆さんには大変な難儀をお掛けしました。加えて今年も前日の準備作業にも大きく力を発揮して頂きました。心から感謝申し上げます。

帰りの際には参加した多くのみなさんから「楽しかった」「来年もよろしく」という声を頂き、何とか無事に終わった敬老会でしたが、開始前の受付では長蛇の列が出来てしまう等、反省すべき点、改善すべき点も多々ありました。来年の運営に生かして行きたいと思っております。

敬老の日は戦後まもなく「老人を大切にし、老人から知恵を借りて村作りをしよう」と兵庫県の小さな村で産声を上げ、それが全国に広まって行ったと言われています。「高齢者の孤立化」が深刻さをましている昨今、「敬老会」は地域が高齢者を見詰め直し、高齢者が地域を見詰め直すきっかけとなる場として、それにふさわしいより内容のあるものに発展させて行きたいものだと思います。皆さんの御協力本当にありがとうございます。

受賞おめでとうございます

秋田市社会福祉協議会表彰



理事 佐藤 義人氏 (牛島東五丁目)



理事 荒木 明子氏 (牛島東四丁目)



理事 小野寺京子氏 (楡山城南新町)



理事 本間 京子氏 (牛島東五丁目)

秋田市功労者表彰



一般表彰(民生・児童委員) 藤原 博子氏 (楡山愛宕下)

中央地区防犯功労者

平澤 正幸氏(牛島東五丁目)

鎌田 芳男氏(牛島東七丁目)

地域保健推進活動感謝状

牛島地区保健推進員

大工原きよ子氏(牛島東一丁目)

高橋 昌子氏(牛島東四丁目)

富樫 洋子氏(牛島東七丁目)

篤志寄付

岡部時計店様
牛島東5-1-12

心あたたまご寄付をいただきました。ありがとうございます。

歳末助け合い対象の見直し

町内会様より協賛いただいて毎年、12月に見舞金をお届けしてきましたが、個人見舞金の対象者が限られていたことから民生児童委員協議会と協議して、従来9月に実施の一人暮らし高齢者への「ふれあい訪問」を拡大して、12月に「歳末ふれあい訪問」として、65歳以上の一人暮らしの方と75歳以上のご夫婦のみ世帯を対象にお届けすることとしました。また、団体見舞金も対象および金額を一部見直ししました。

県統計功労者表彰

県知事表彰

戸田 美子氏(牛島東七丁目)

赤い羽根共同募金

やせとさで 地域を支える 赤い羽根



戦後復興の「国民助け合い運動」をきっかけにスタートした赤い羽根共同募金、今年も十月一日より始まりました。各町内会や卸町の各企業の皆様から多くのお心をいただきありがとうございます。ご協力をお願いします。

募金のお願いをしていくと時々使い道について尋ねられることがあります。約七割は募金をした市町村で使われ、牛島地区にも還元されています。残りの三割は高齢者福祉施設への助成や防犯活動、障害者支援活動や災害時の支援活動など、広域的な問題を解決するために都道府県の範囲内で使われます。

卸町での企業募金活動は十月十九日に社協の理事十九名が参加して行い**十四万八千二百七十七円**のご協力をいただきました。皆様の善意に心より感謝いたします。(大工原)

福祉協力員について

今年度新たに福祉協力員が9町内で決まりました。これで牛島地区27町内で設置されることになりました。推薦して下さった町内会長さんにお礼申し上げます。

右記に新たな協力員と町内で変更になった協力員のお名前を掲載いたします。研修会は3月に行う予定です。ですのでよろしくお願いいたします。

町内会名	名前	町内会名	名前
宝袋院	永井 勝	東七丁目第一	高橋恵美子
新生会	渡邊 留夫	東七丁目第二	○河内 信雄
一区	吉川 宏悦		○斉藤 徹
三区下町協和会	船木 豊	城南むつみ第一	○岸 栄一
三区上町	○岡部 司	城南むつみ第二	泉田 隆一
東三丁目	伊藤しのぶ	城南苑	國安 秀俊
東方	柳田 栄一		(○印は町内で変更)

民生・児童委員協議会から

広報企画部 塩谷 洪毅

禁煙成功宣言を願って

早いもので、民生児童委員に就任し二年になるうとしています。長くこの町内で暮らしていて、漠然と、何かお手伝いできることはないだろうかと思っていた頃、民生児童委員の話があり、お受けしました。

当初の私は、民生委員制度と言う言葉を知っている程度で、見ること、聞くことの全てが「はあ?」「そうなのかい」という状態でした。写経以外の社協の存在も初めて認識しました。以来、時間の許す限り研修会や講習会等に参加して知識を増やしながら、高齢者やひとり暮らしの方々を訪問するなど、見守り活動を行っています。

そんな中、体調を崩し病院を受診したところ、「肺に問題があるので今すぐ煙草をやめなさい。」とのこと。この先生が秋田における禁煙外来の先駆者と後で知りました。五十年以上の付き合いの中で習慣性が強く相当に葛藤もありましたが、現在は禁煙に成功しつつあります。また、具合が悪くてはこの活動はできないという思いが継続できている一因になっていることも確かです。

私の禁煙は家族と職場の一部の人しか知りません。今回は、あえてここで公表することで自分にプレッシャーを掛けたつもりです。きつと、近々「禁煙成功宣言」ができるかと思えます。

そして、地区社協や民児協、町内会や福祉協力員等の方々と連携し、安全且つ安心の街作りを目指して頑張れるようにしたいと思います。



民児協のマーク